

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.82

(令和5年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 5 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲18.2 と令和 4 年下期に比べ 9.9 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲27.1（前期▲22.9）、建設業▲15.9（前期▲24.4）、卸売業▲13.6（前期▲31.9）、小売業▲35.1（前期▲49.7）、飲食業 8.8（前期▲17.1）、サービス業▲13.1（前期▲23.5）、交通運輸業▲15.5（前期▲32.6）、その他の業種▲8.1（前期▲29.7）と、製造業を除く全ての業種で改善し、製造業は 4.2 ポイント悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲20.3（前期▲26.3）、中勢地区▲16.9（前期▲32.9）、南勢地区▲4.8（前期▲24.2）、伊賀地区▲16.5（前期▲26.6）、東紀州地区▲33.8（前期▲36.9）となり、全ての地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲19.3 となり、現状の D I 値（▲18.2）と比較すると 1.1 ポイントの悪化を見通しています。業種別では、飲食業・その他の業種では改善の見通し、小売業・交通運輸業はほぼ横ばいの見通し、製造業・建設業・卸売業・サービス業では悪化の見通しとなり、地区別では、北勢地区のみ改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の全体 D I 値は改善となりました。

地区別では「売上状況」「利益状況」「仕入条件」は全ての地区で改善し、「販売条件」は東紀州地区を除く全ての地区で改善となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 14.9%（前期 16.1%）と 1.2 ポイント減少し、「予定している」とした割合は、全体で 12.9%（前期 13.8%）と前期と比べほぼ横ばいとなりました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 3.2（前期▲0.4）と 3.6 ポイント増加、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 13.1%（前期 13.1%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 70.0%（前期 58.5%）、『設備資金』の割合は 26.9%（前期 37.5%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 5 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 最近の売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	10
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	11
8. 資金繰り状況と今後の見通し	12
9. 借入状況	13
借入難易度D I 値の推移	14
10. 借入予定	15
11. 借入希望先	15
12. 借入金の使途予定	16
13. 経営上の問題点	16
・ 県内商工会議所地区の景況	18
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,591 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 25.7%、回答企業 2,469 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 5 年 7 月 1 日～7 月 14 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢					中勢			南勢			伊賀		東紀州			計		
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	41	8	19	6	8	23	5	18	18	11	7	4	2	2	18	14	4	104	
	せんい	5	1	3	1	0	2	1	1	2	2	0	8	5	3	0	0	0	17	
	機械	57	25	20	9	3	11	5	6	12	5	7	1	1	0	1	1	0	82	
	金属製品	56	29	10	14	3	14	6	8	6	5	1	3	2	1	1	1	0	80	
	木材	16	6	6	2	2	17	1	16	8	8	0	1	1	0	12	9	3	54	
	化学	5	1	1	2	1	2	1	1	2	2	0	2	0	2	0	0	0	11	
	窯業	15	1	10	2	2	2	0	2	0	0	0	1	1	0	3	3	0	21	
	印刷出版	8	2	3	2	1	9	3	6	3	3	0	1	0	1	2	1	1	23	
	その他	44	13	15	12	4	15	2	13	11	9	2	6	5	1	9	7	2	85	
	計	247 (19.0) (51.8)	86	87	50	24	95 (19.7) (19.9)	24	71	62 (18.3) (13.0)	45	17	27 (15.9) (5.7)	17	10	46 (25.6) (9.6)	36	10	477 (19.3) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	69	8	24	29	8	17	8	9	15	6	9	13	3	10	10	7	3	124
		建築工事	158	40	81	29	8	69	31	38	25	20	5	11	8	3	14	10	4	277
		その他	135	26	64	38	7	49	24	25	15	13	2	17	6	11	4	4	0	220
		(小計)	362	74	169	96	23	135	63	72	55	39	16	41	17	24	28	21	7	621
	卸売業	食料	11	3	5	2	1	7	1	6	9	7	2	1	0	1	6	5	1	34
		せんい	5	0	5	0	0	1	1	0	8	7	1	0	0	0	1	1	0	15
		その他	42	12	21	6	3	23	11	12	19	16	3	5	1	4	2	1	1	91
		(小計)	58	15	31	8	4	31	13	18	36	30	6	6	1	5	9	7	2	140
	小売業	せんい	26	10	10	3	3	9	2	7	15	12	3	7	4	3	10	3	7	67
		食料	49	16	15	6	12	8	3	5	16	13	3	7	3	4	11	4	7	91
		日用品	9	2	3	3	1	5	1	4	2	2	0	0	0	0	1	1	0	17
		電気製品	16	3	6	4	3	6	2	4	5	5	0	4	3	1	4	3	1	35
		その他	90	25	28	26	11	39	5	34	21	12	9	19	10	9	16	8	8	185
		(小計)	190	56	62	42	30	67	13	54	59	44	15	37	20	17	42	19	23	395
		飲食業	74	14	25	21	14	32	16	16	48	39	9	13	6	7	16	11	5	183
		サービス業	美容・理容	51	5	20	18	8	4	0	4	13	12	1	11	8	3	8	6	2
	ホテル旅館	5	2	2	1	0	4	1	3	11	3	8	0	0	0	4	2	2	24	
	自動車整備	43	13	10	9	11	24	3	21	7	7	0	7	2	5	5	3	2	86	
	不動産	69	18	41	9	1	14	7	7	5	5	0	5	1	4	3	3	0	96	
	その他	105	26	53	16	10	33	13	20	25	23	2	18	9	9	6	4	2	187	
	(小計)	273	64	126	53	30	79	24	55	61	50	11	41	20	21	26	18	8	480	
	交通運輸業	15	6	3	2	4	22	4	18	3	2	1	1	1	0	4	4	0	45	
	計	972 (74.9) (52.1)	229	416	222	105	366 (75.9) (19.6)	133	233	262 (77.3) (14.1)	204	58	139 (81.8) (7.5)	65	74	125 (69.4) (6.7)	80	45	1864 (75.5) (100.0)	
	その他・不明	79 (6.1) (61.7)	17	38	20	4	21 (4.4) (16.4)	17	4	15 (4.4) (11.7)	10	5	4 (2.4) (3.1)	1	3	9 (5.0) (7.0)	6	3	128 (5.2) (99.9)	
	合計	1298 (100.0) (52.6)	332	541	292	133	482 (100.0) (19.5)	174	308	339 (100.0) (13.7)	259	80	170 (100.1) (6.9)	83	87	180 (100.0) (7.3)	122	58	2469 (100.0) (100.0)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,469 事業所中、「良い・やや良い」が 21.5%、「悪い・やや悪い」が 39.7%で、D I 値は▲18.2（前期▲28.1）となり、9.9 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前期と比べ悪化した製造業を除く全ての業種で改善しており、製造業▲27.1、建設業▲15.9、卸売業▲13.6、小売業▲35.1、飲食業 8.8、サービス業▲13.1、交通運輸業▲15.5、その他の業種▲8.1 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ全ての地区で改善しており、北勢地区▲20.3、中勢地区▲16.9、南勢地区▲4.8、伊賀地区▲16.5、東紀州地区▲33.8 となった。

図－1 現状について（業種別）

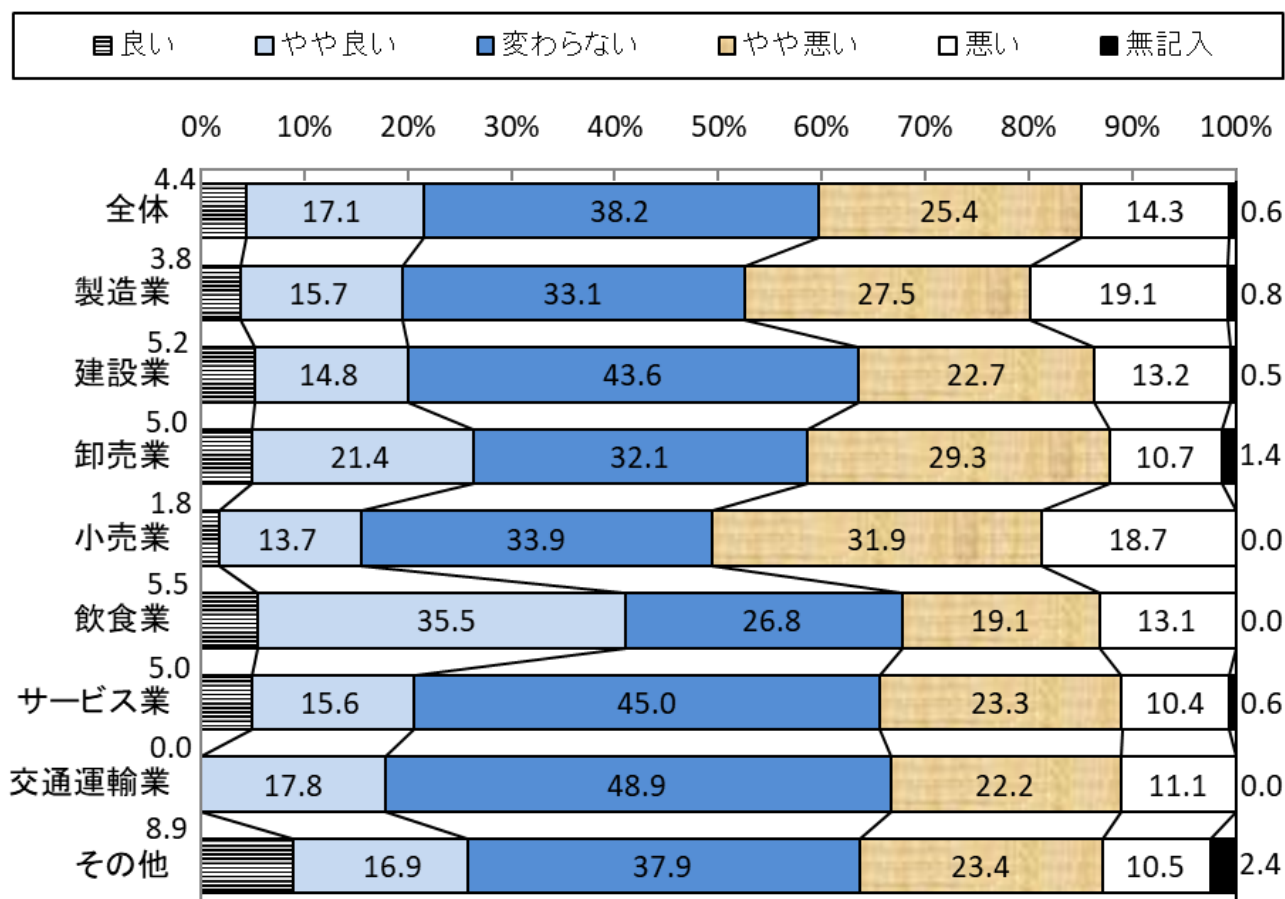


図-2 現状について（全体・地区別）

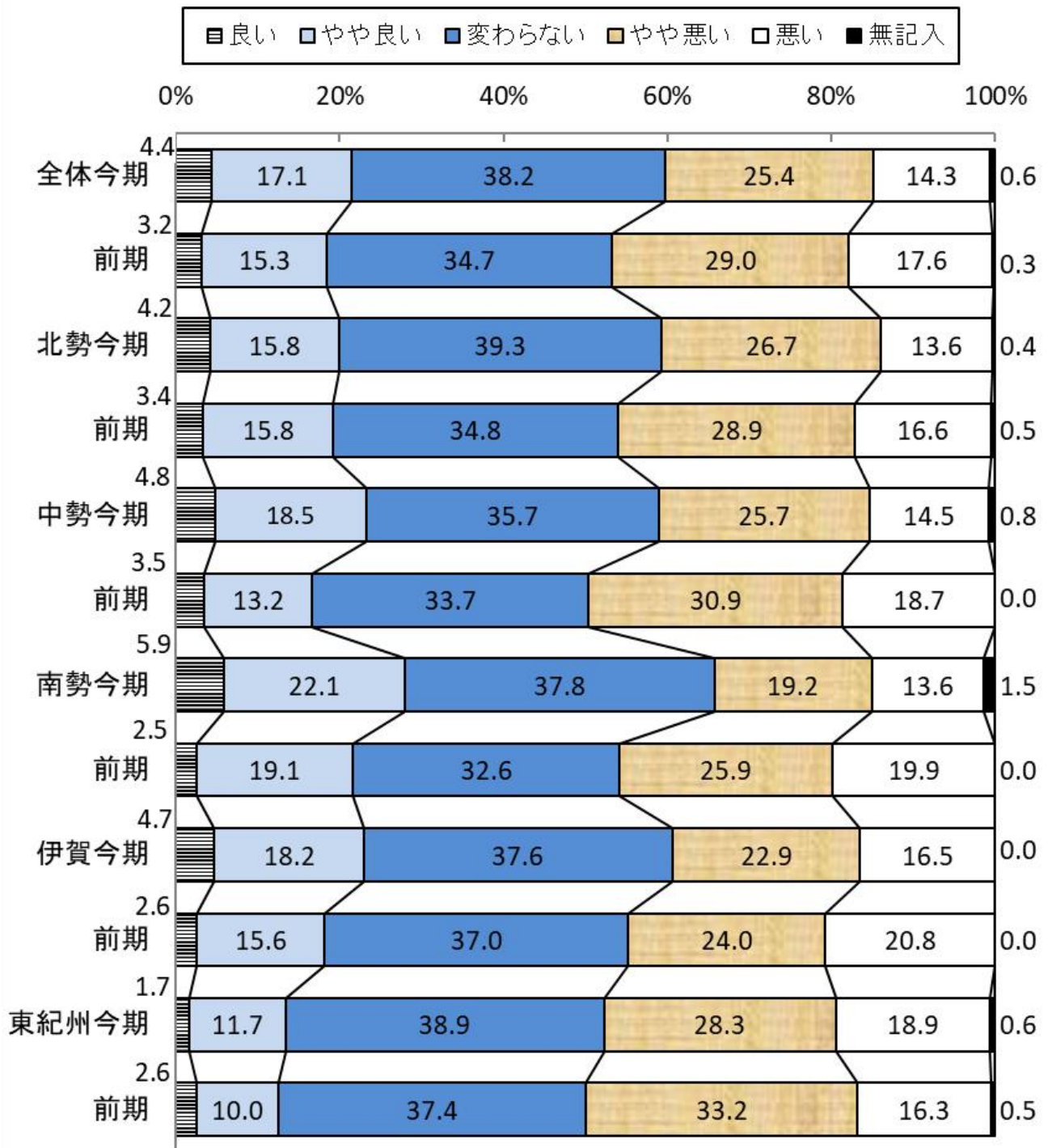
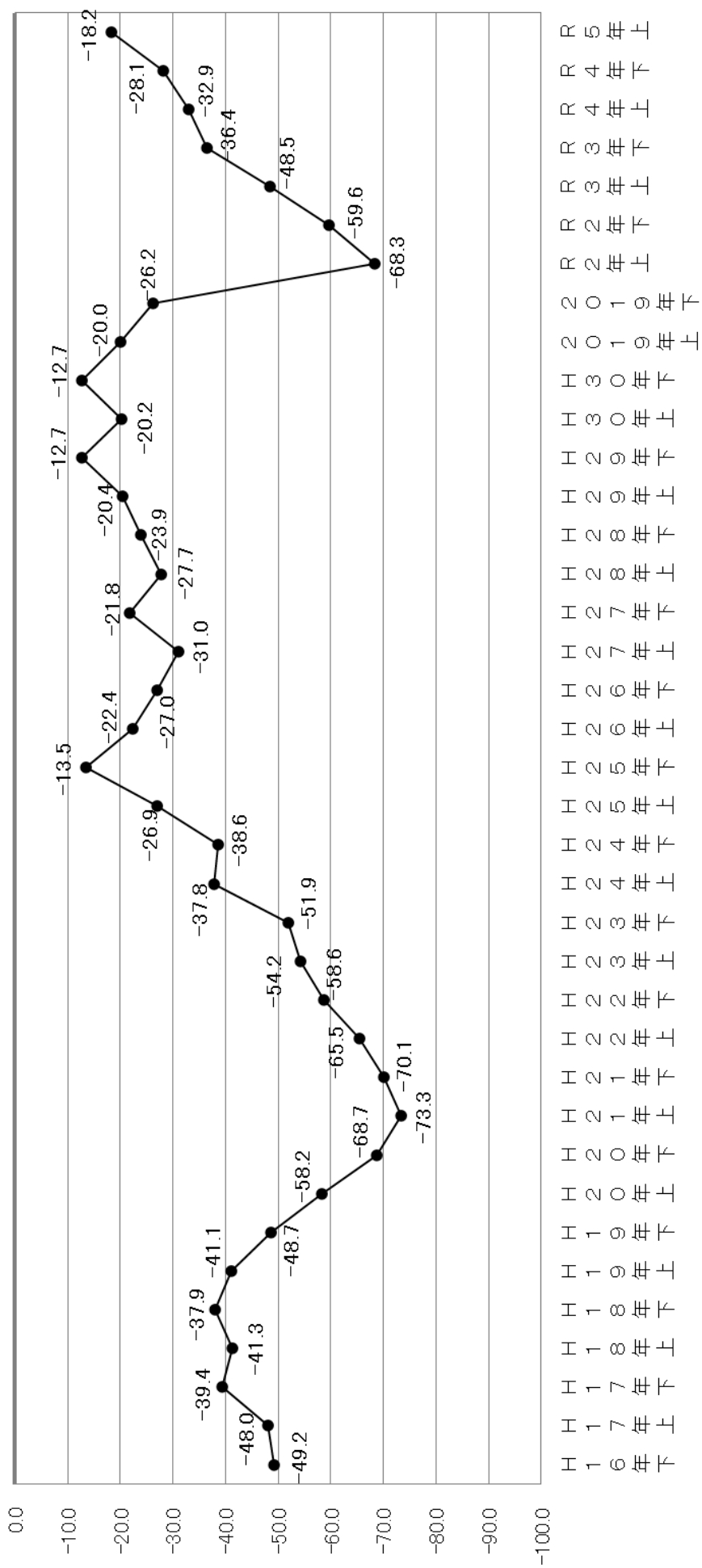


図-3 現況D I 値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

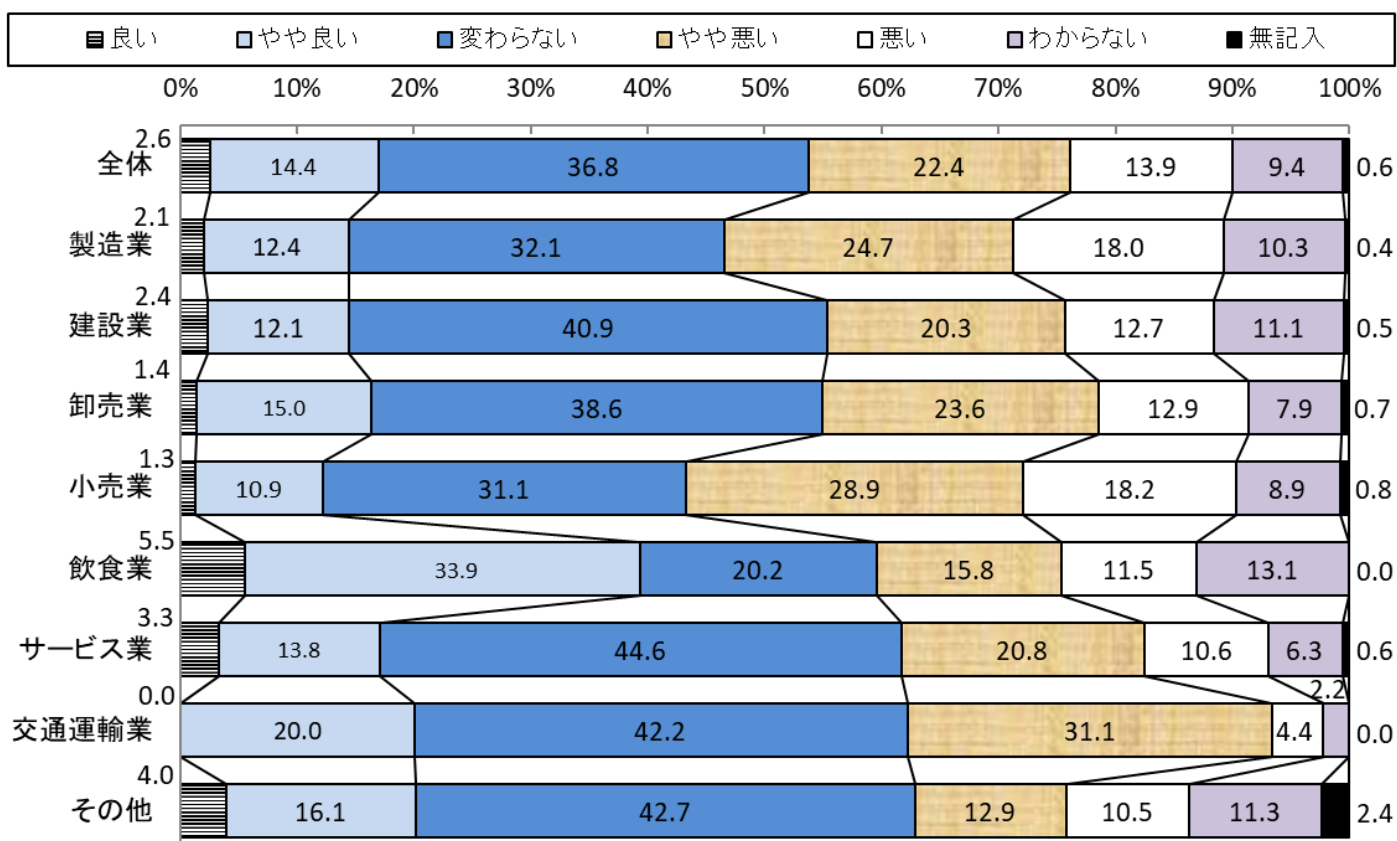
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が17.0%、「悪い・やや悪い」は36.3%で、D I値は▲19.3（現状D I値▲18.2）となり、1.1ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ飲食業、その他の業種で改善の見通し、小売業、交通運輸業ではほぼ横ばいの見通し、製造業、建設業、卸売業、サービス業で悪化の見通しとなり、製造業▲28.2、建設業▲18.5、卸売業▲20.1、小売業▲34.9、飲食業12.1、サービス業▲14.3、交通運輸業▲15.5、その他の業種▲3.3となった。

地区別のD I値では、現状と比べ北勢地区で改善の見通し、東紀州地区ではほぼ横ばいの見通し、中勢地区、南勢地区、伊賀地区は悪化の見通しとなり、北勢地区▲18.6、中勢地区▲21.5、南勢地区▲8.3、伊賀地区▲24.7、東紀州地区▲33.3となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）

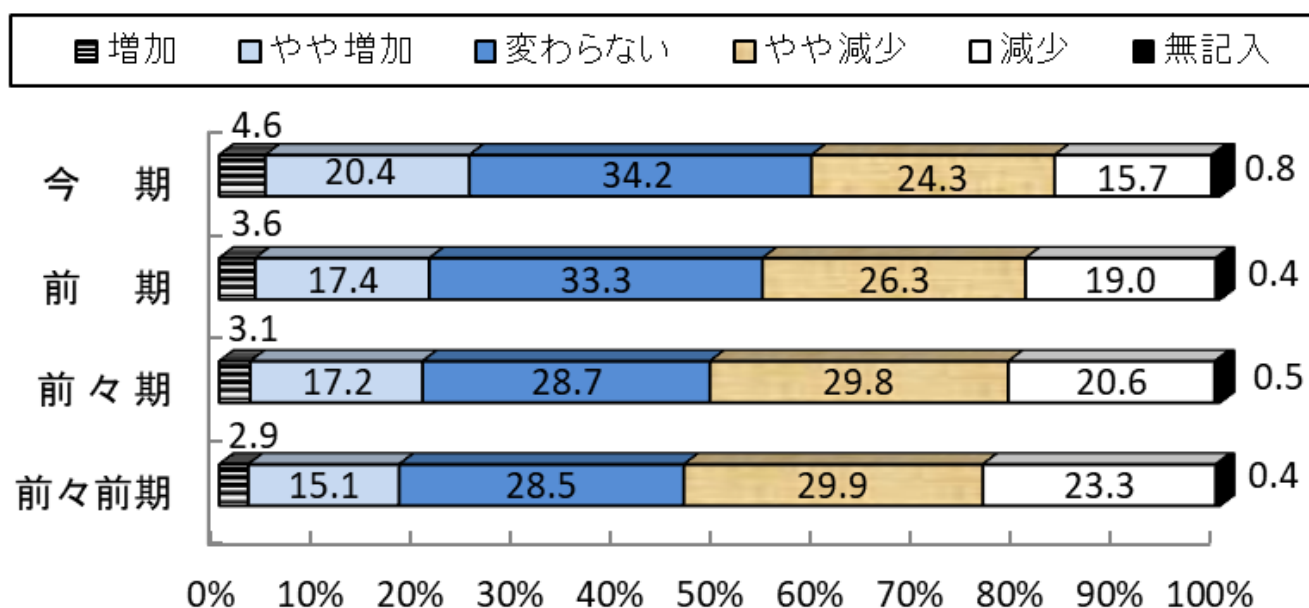


2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 25.0%（前期 21.0%）、「やや減少・減少」が 40.0%（前期 45.3%）で、D I 値は▲15.0（前期▲24.3）となり、9.3 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前期と比べ悪化した製造業を除く全ての業種で改善しており、製造業▲20.0、建設業▲17.6、卸売業▲7.8、小売業▲29.4、飲食業 22.5、サービス業▲13.9、交通運輸業▲11.1、その他の業種▲6.4 となった。地区別の D I 値では、前期と比べ全ての地区で改善しており、北勢地区▲16.4、中勢地区▲13.5、南勢地区▲1.5、伊賀地区▲16.5、東紀州地区▲33.9 となった。

図-5 売上状況



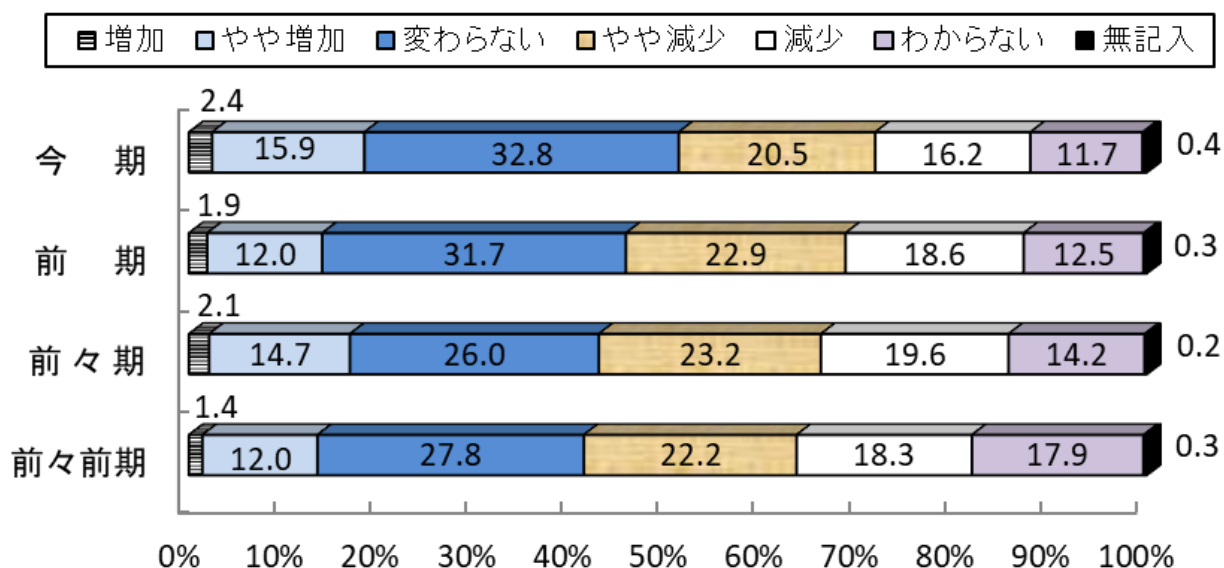
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 18.3%（前期 13.9%）、「やや減少・減少」が 36.7%（前期 41.5%）で、D I 値は▲18.4（現状 D I 値▲15.0）となり、3.4 ポイント悪化する見通しとなった。

業種別の D I 値では、現状と比べ交通運輸業、その他の業種で改善の見通し、サービス業でほぼ横ばいの見通し、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業で悪化の見通しとなり、製造業▲25.6、建設業▲23.1、卸売業▲20.1、小売業▲31.1、飲食業 17.0、サービス業▲13.5、交通運輸業▲6.7、その他の業種 0.0 となった。

地区別の D I 値では、現状と比べ東紀州地区で改善の見通し、北勢地区、中勢地区、南勢地区、伊賀地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲19.3、中勢地区▲19.5、南勢地区▲6.6、伊賀地区▲23.4、東紀州地区▲26.7 となった。

図-6 売上見通し



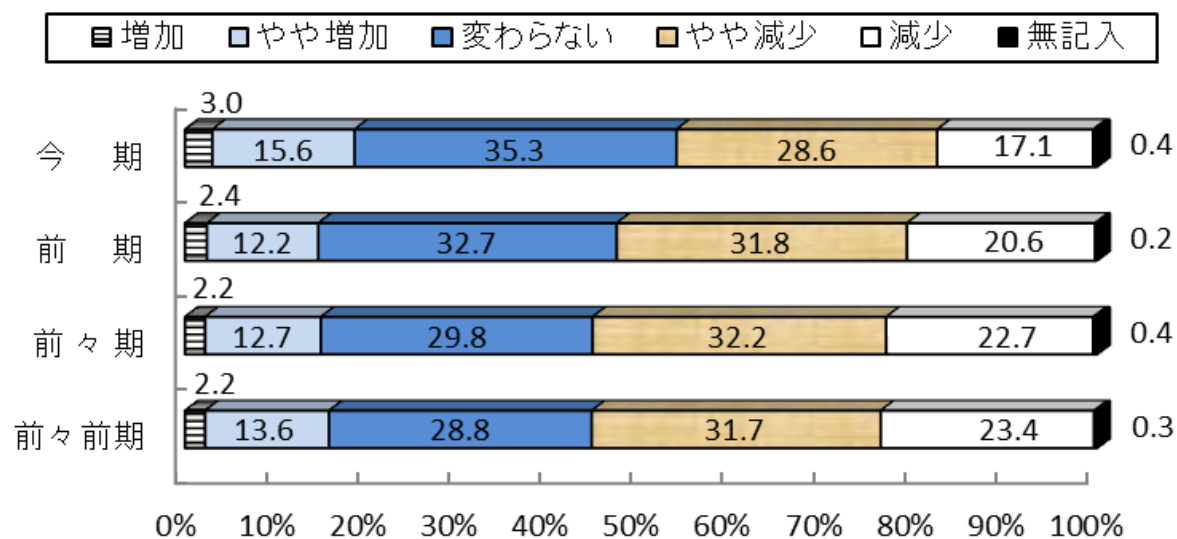
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が18.6%（前期14.6%）、「やや減少・減少」が45.7%（前期52.4%）で、D I値は▲27.1（前期▲37.8）となり、10.7ポイント改善した。

業種別のD I値では、前期と比べ全ての業種で改善しており、製造業▲32.4、建設業▲26.4、卸売業▲21.4、小売業▲41.6、飲食業▲11.4、サービス業▲23.0、交通運輸業▲17.8、その他の業種▲14.5となった。

地区別のD I値では、前期と比べ全ての地区で改善しており、北勢地区▲26.6、中勢地区▲30.8、南勢地区▲16.2、伊賀地区▲26.5、東紀州地区▲42.2となった。

図-7 利益状況



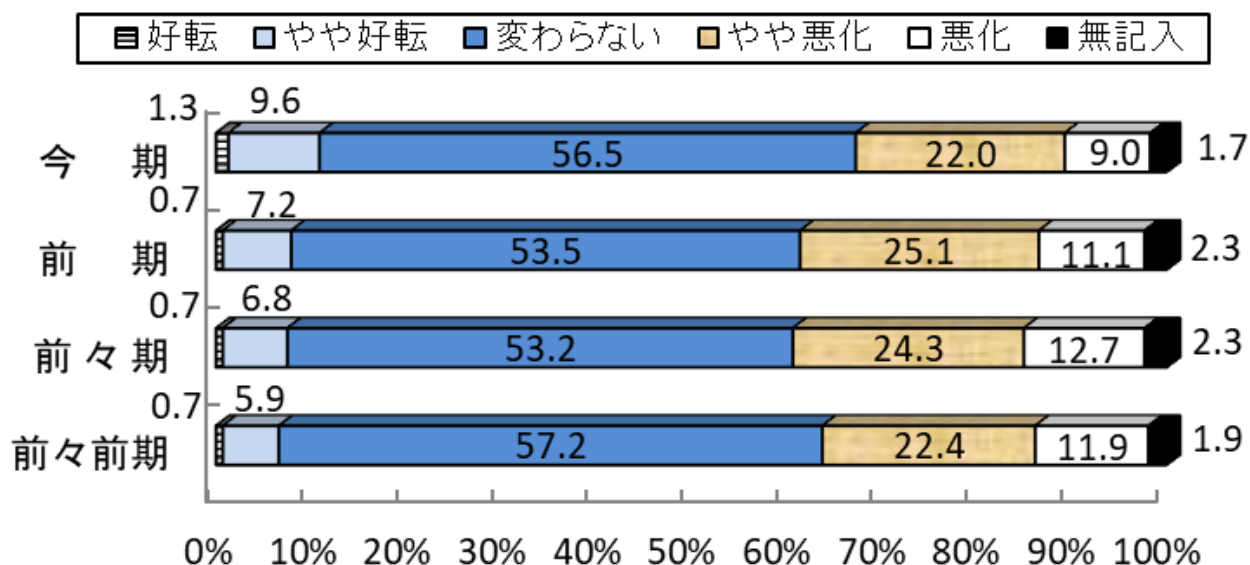
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が 10.9%（前期 7.9%）、「やや悪化・悪化」が 31.0%（前期 36.2%）で、D I 値は▲20.1（前期▲28.3）となり、8.2 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前期と比べ全ての業種で改善しており、製造業▲15.5、建設業▲20.9、卸売業▲26.5、小売業▲33.7、飲食業▲8.2、サービス業▲19.7、交通運輸業▲13.3、その他の業種▲6.5 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ悪化した東紀州地区を除く全ての地区で改善しており、北勢地区▲19.1、中勢地区▲21.2、南勢地区▲14.9、伊賀地区▲18.1、東紀州地区▲37.2 となった。

図-8 販売条件



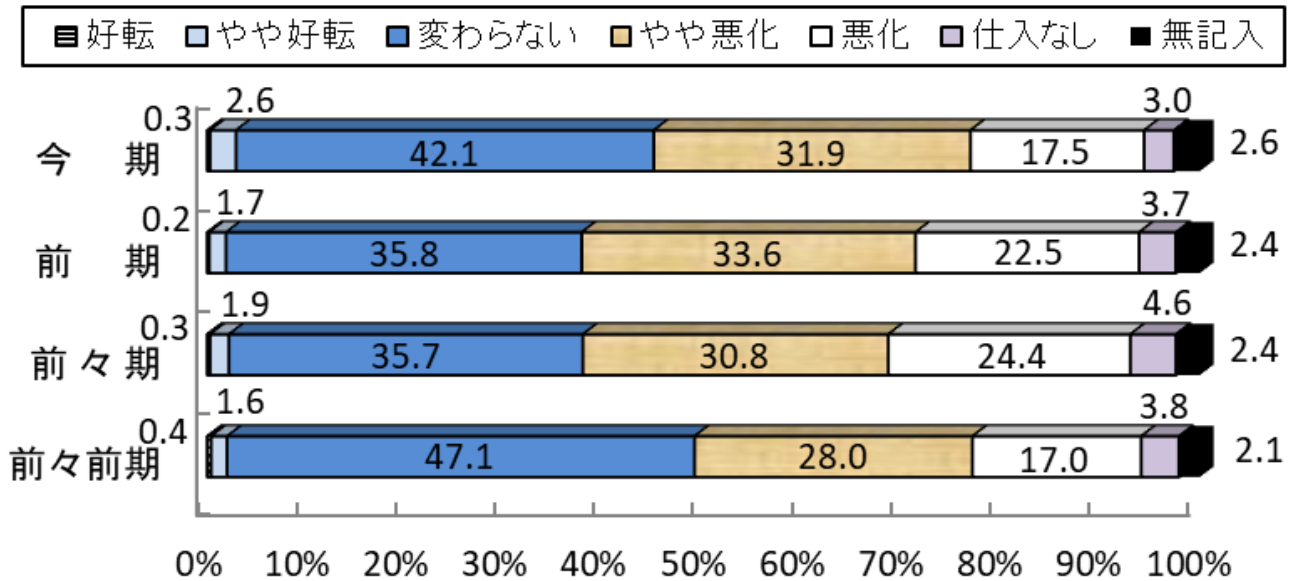
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が 2.9%（前期 1.9%）、「やや悪化・悪化」が 49.4%（前期 56.1%）で、D I 値は▲46.5（前期▲54.2）となり、7.7 ポイント改善となった。

業種別の D I 値では、前期と比べほぼ横ばいの卸売業を除く全ての業種で改善しており、製造業▲48.9、建設業▲47.7、卸売業▲48.6、小売業▲50.1、飲食業▲72.7、サービス業▲34.6、交通運輸業▲40.0、その他の業種▲26.7 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ全ての地区で改善しており、北勢地区▲45.7、中勢地区▲47.5、南勢地区▲46.0、伊賀地区▲47.6、東紀州地区▲48.9 となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は 369 社、14.9%（前期 396 社、16.1%）、設備投資を予定している企業は 319 社、12.9%（前期 339 社、13.8%）であった。

業種別では、飲食業が 18.6%、その他の業種が 18.5%、サービス業が 17.1%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高かった。設備投資の予定については、交通運輸業が 31.1%と最も高い割合であった。

地区別では、設備投資を行った企業は、北勢地区、伊賀地区が実績 15.3%と最も高く、設備投資を予定している企業については南勢地区が 15.0%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

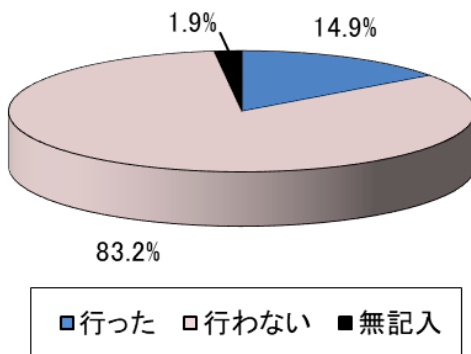
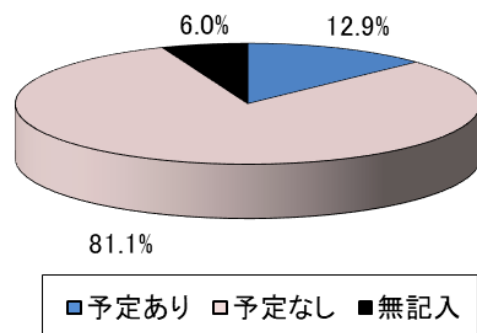


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

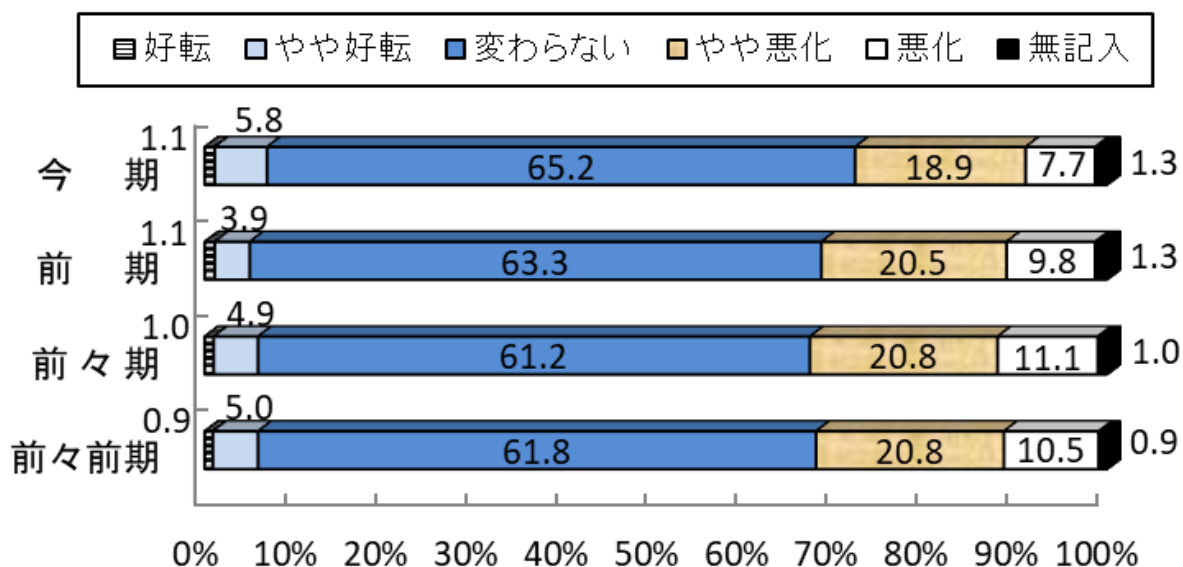
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が6.9%（前期5.0%）、「悪化・やや悪化」は26.6%（前期30.3%）で、D I値は▲19.7（前期▲25.3）となり、5.6ポイント改善した。

業種別D I値では、前期と比べほぼ横ばいの卸売業を除く全ての業種で改善しており、製造業▲21.7、建設業▲15.9、卸売業▲18.6、小売業▲25.2、飲食業▲32.3、サービス業▲16.7、交通運輸業▲26.7、その他の業種▲7.2となった。

地区別D I値では、前期と比べ全ての地区で改善しており、北勢地区▲19.3、中勢地区▲16.0、南勢地区▲18.9、伊賀地区▲22.9、東紀州地区▲30.6となった。

図-12 資金繰りの現状



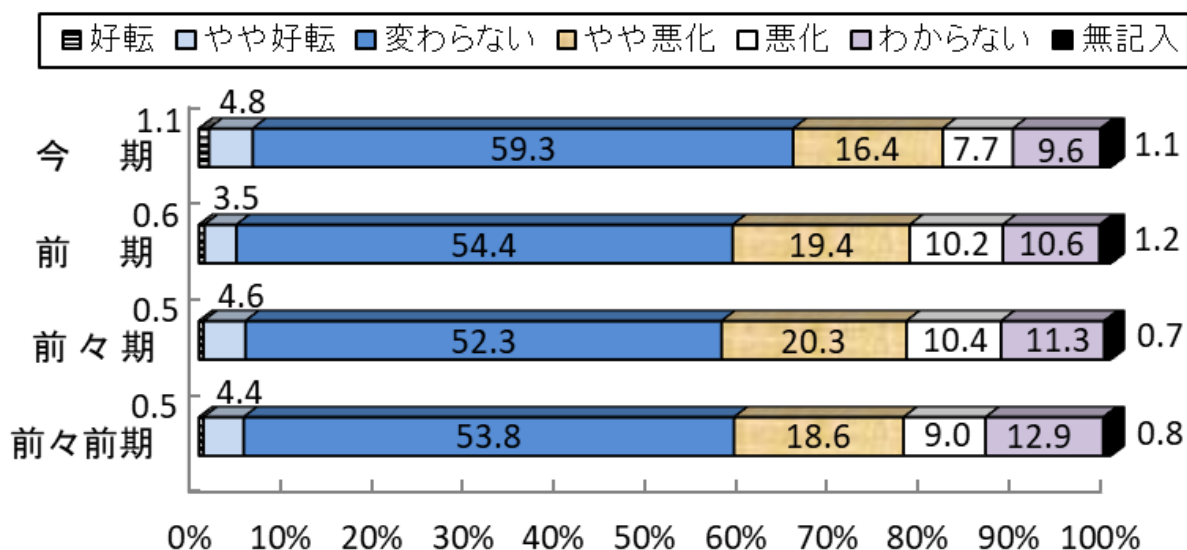
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が5.9%（前期4.1%）、「悪化・やや悪化」は24.1%（前期29.6%）でD I値は▲18.2（現状D I値▲19.7）となり、1.5ポイント改善した。

業種別D I値では、現状と比べ製造業、小売業、飲食業、交通運輸業、その他の業種で改善の見通し、建設業、卸売業、サービス業で悪化の見通しとなり、製造業▲18.2、建設業▲17.5、卸売業▲21.5、小売業▲22.7、飲食業▲21.3、サービス業▲18.0、交通運輸業▲17.8、その他の業種▲1.6となった。

地区別のD I値では、現状と比べ北勢地区、中勢地区、南勢地区、東紀州地区で改善の見通し、伊賀地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲17.7、中勢地区▲14.7、南勢地区▲16.2、伊賀地区▲26.5、東紀州地区▲28.3となった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

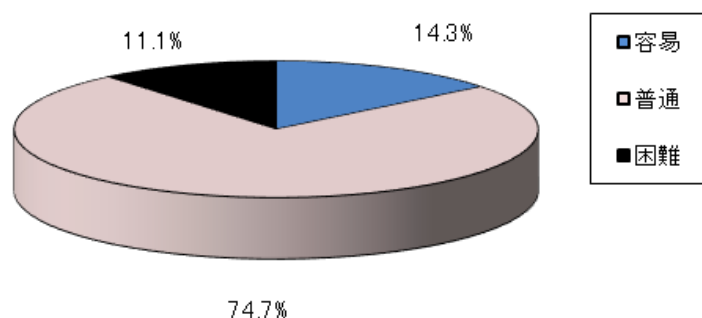
回答企業 2,469 社のうち、借入を実施した企業は、940 社、38.1%（前期 996 社、40.5%）であった。

b) 借入の難易度

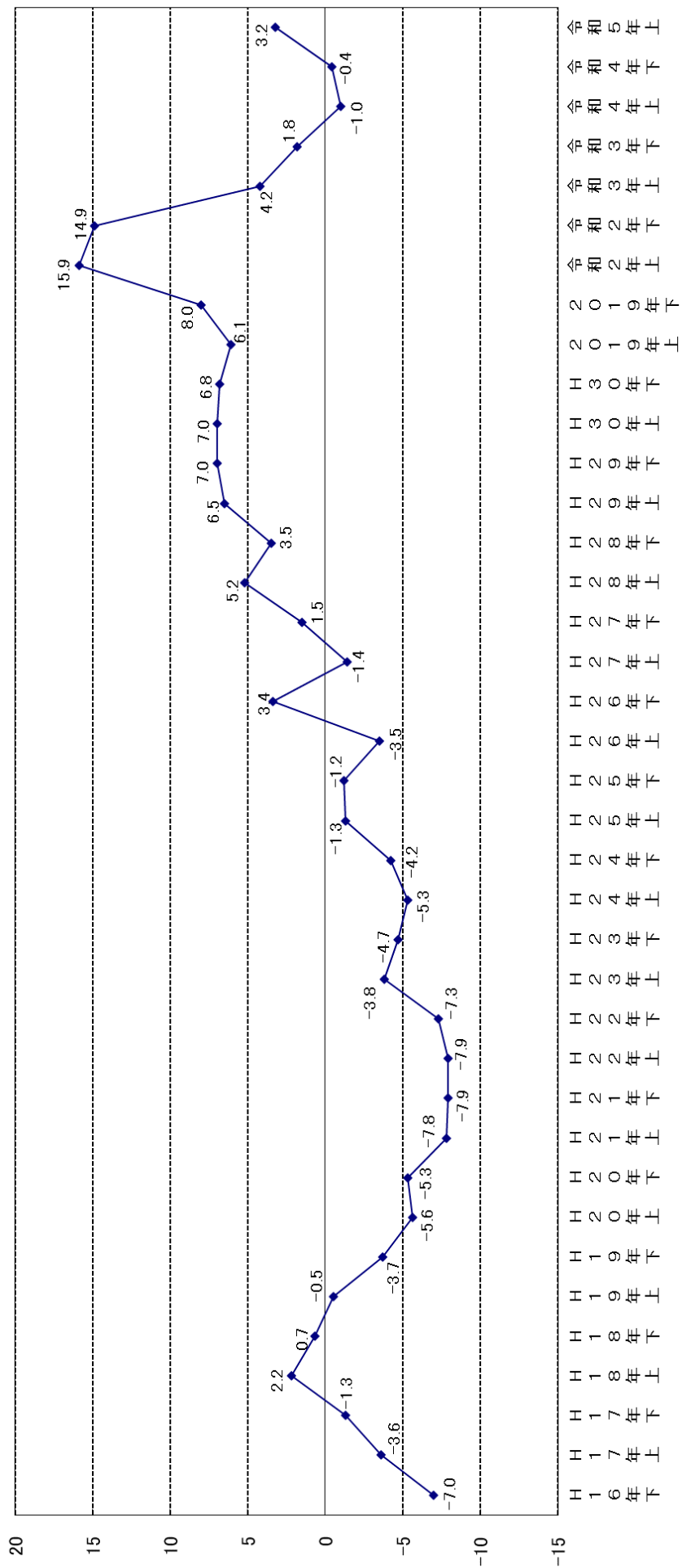
全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 14.3%（前期 12.3%）、「困難」は 11.1%（前期 12.7%）で、D I 値は 3.2（前期▲0.4）となり、3.6 ポイント改善した。

業種別 D I 値では、建設業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で改善、製造業、交通運輸業ではほぼ横ばい、飲食業で悪化しており、製造業 3.9、建設業 7.3、卸売業 8.8、小売業 5.1、飲食業▲20.4、サービス業▲1.2、交通運輸業▲5.0、その他の業種 6.6 となった。

図-14 借入の難易度



図一15 借入難易度DI値の推移



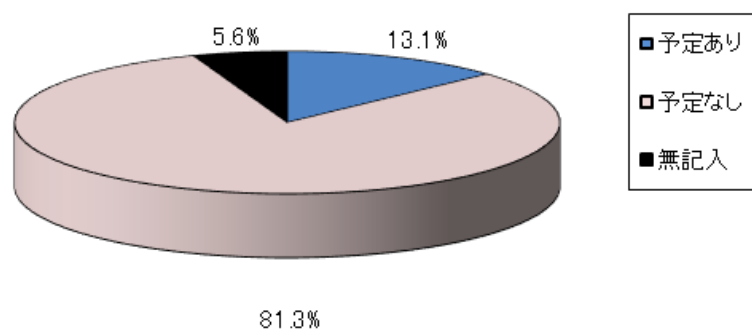
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,469 社のうち、借入を予定している企業は 323 社、13.1%（前期 323 社 13.1%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 26.7%と最も高く、小売業が 9.1%と最も低かった。

地区別では、北勢地区が 14.1%と最も高く、中勢地区 13.3%、南勢地区 10.9%、伊賀地区 12.4%、東紀州地区 10.0%となった。

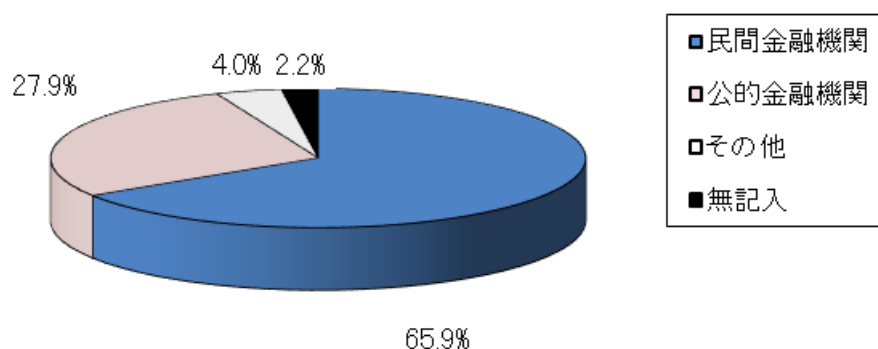
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 65.9%（前期 67.5%）、「公的金融機関」は 27.9%（前期 24.1%）となった。

図-17 借入希望先

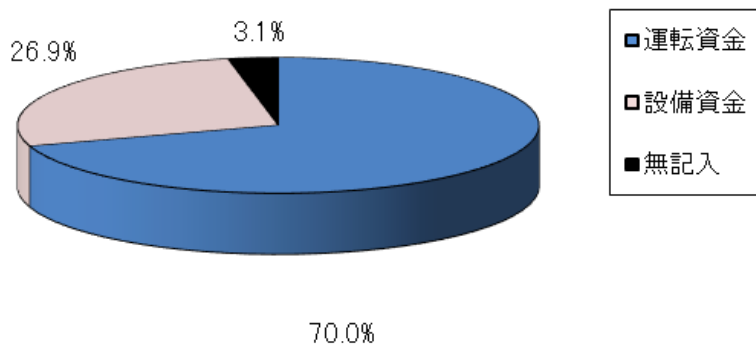


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が70.0%（前期58.5%）に対し、「設備資金」は26.9%（前期37.5%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が84.6%、「設備資金」で交通運輸業が66.7%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く40.9%（前期43.9%）、次いで「原材料高及び不足」が38.0%（前期39.4%）、「人手不足」が24.0%（前期26.8%）となった。「売上・受注の停滞減少」は前期に引き続き、第1位となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業で「原材料高及び不足」、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」が最も多かった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (51.4)	原材料高及び不足 (46.1)	設備店舗の狭小老朽化 (19.5)
	建 設 業	原材料高及び不足 (41.5)	人手不足 (40.6)	売上・受注の停滞減少 (36.1)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (53.6)	原材料高及び不足 (44.3)	競争激化 (22.1)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (54.9)	原材料高及び不足 (29.9)	設備店舗の狭小老朽化 (22.0)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (67.8)	設備店舗の狭小老朽化 (28.4)	売上・受注の停滞減少 (24.0)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (32.1)	原材料高及び不足 (23.3)	設備店舗の狭小老朽化 (22.5)
	交通運輸業	人手不足 (40.0)	売上・受注の停滞減少 人件費以外の経費増加 (35.6)	
	そ の 他	人手不足 (29.8)	売上・受注の停滞減少 (25.8)	原材料高及び不足 (22.6)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (38.2)	原材料高及び不足 (36.4)	人手不足 (24.1)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (45.6)	原材料高及び不足 (38.6)	人手不足 (26.8)
	南 勢	原材料高及び不足 (42.2)	売上・受注の停滞減少 (38.9)	人手不足 (24.5)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (42.4)	原材料高及び不足 (32.9)	人件費以外の経費増加 (24.1)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (49.4)	原材料高及び不足 (44.4)	人件費以外の経費増加 (21.7)
総 合		売上・受注の停滞減少 (40.9)	原材料高及び不足 (38.0)	人手不足 (24.0)

(単位：%)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,510 事業所 回答状況 332 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.4%（前期 21.3%）、「やや悪い・悪い」が 42.1%（前期 44.2%）となった。D I 値は▲23.7（前期▲22.9）となり、前期調査時に比べ 0.8 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲33.7（前期▲15.3）・建設業が▲21.5（前期▲19.8）・卸売業が▲33.3（前期▲44.0）・小売業が▲24.9（前期▲36.7）・飲食業が 0.0（前期 0.0）・サービス業が▲12.5（前期▲19.8）・交通運輸業が▲33.3（前期▲50.0）・その他の業種が▲29.5（前期▲26.4）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業で改善が見られた。飲食業は横ばいのままであり、製造業、建設業、その他業種については悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 38.9% で、D I 値は▲24.8 となった。

現状の D I 値（▲23.7%）と比較すると、1.1 ポイントの業況悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲40.6・建設業が▲16.2・卸売業が▲33.4・小売業が▲32.2・飲食業が 14.3・サービス業が▲18.7・交通運輸業が▲16.7・その他の業種が▲5.9 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 5.3 ポイント、飲食業が 14.3 ポイント、交通運輸業が 16.6 ポイント、その他の業種が 23.6 ポイント改善を見通す。一方で製造業が 6.9 ポイント、小売業が 7.3 ポイント、サービス業が 6.2 ポイント悪化を見通す。卸売業はほぼ横ばいを見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 39.5%（前期 43.7%）、「原材料高及び不足」が 36.1%（前期 39.2%）、「人手不足」が 24.1%（前期 23.8%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。また、建設業、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

「原材料高及び不足」は全業種で上位に入っている。また、「人件費の増加」が 11.1%（前期 10.9%）と前回より増加しており、人手不足や賃金の引き上げなどの影響から上昇傾向にあることが窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 51 社 15.4%（前期 21.6%）であった。前期と比較して 6.2 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 12.8%（前期 17.1%）、建設業が 20.3%（前期 14.1%）、卸売業が 6.7%（前期 8.0%）、小売業が 8.9%（前期 25.0%）、飲食業が 21.4%（前期 36.0%）、サービス業が 18.8%（前期 29.6%）、交通運輸業が 16.7%（前期 25.0%）、その他の業種が 17.6%（前期 36.8%）となった。

前期と比較し、建設業が 6.2 ポイントと増加しているが、建設業以外は前期と比較して減少となった。業種別では、建設業 15 社が最も多かった。

四日市商工会議所地区（調査対象 2,367 事業所 回答状況 541 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.4%（前期 18.5%）、「やや悪い・悪い」が 40.7%（前期 44.8%）となった。D I 値は▲21.3（前期▲26.3）となり、前期調査時に比べ 5.0 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲22.9（前期▲21.6）、建設業が▲19.5（前期▲23.6）、卸売業が▲38.7（前期▲19.3）、小売業が▲29.0（前期▲52.4）、飲食業が▲20.0（前期▲27.0）、サービス業が▲15.0（前期▲27.6）、その他の業種が▲23.8（前期▲12.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して建設業、小売業、飲食業、サービス業で改善した。一方で、製造業、卸売業、その他の業種で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 18.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 33.5%、D I 値は▲14.9 となった。現状の D I 値（▲21.3）と比較すると 6.4 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲17.2、建設業が▲16.5、卸売業が▲16.1、小売業が▲19.5、飲食業が▲4.0、サービス業が▲12.7、その他の業種が▲10.5 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業が 5.7 ポイント、建設業が 3.0 ポイント、卸売業が 22.6 ポイント、小売業が 9.5 ポイント、飲食業が 16.0 ポイント、サービス業が 2.3 ポイント、その他の業種が 13.3 ポイントと改善を見通す。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上受注の停滞減少」36.6%（前期 47.4%）および「原材料高及び不足」36.6%（前期 58.6%）と最も多く、次いで「人手不足」が 24.0%（前期 22.4%）と上位を占めた。

課題別では、「原材料高及び不足」については飲食業で 76.0%（前期 22.5%）と 53.5 ポイント増加し全業種の中で最も悪化した。また、「人手不足」については建設業で 37.9%（前期 9.7%）28.2 ポイント増加し全業種の中で最も悪化した。

【設備投資】

設備投資を実施した企業は 72 社 13.3%（前期 13.5%）となり、前期と比較してほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業が 16.1%（前期 12.9%）、建設業が 12.4%（前期 15.1%）、卸売業が 3.2%（前期 0.0%）、小売業が 11.3%（前期 11.1%）、飲食業が 16.0%（前期 11.5%）、サービス業が 17.5%（前期 17.5%）、その他の業種では 7.9%（前期 9.1%）となった。

前期と比較し、製造業が 3.2 ポイント、卸売業が 3.2 ポイント、飲食業が 4.5 ポイント増加した一方で、小売業及びサービス業はほぼ横ばい、建設業が 2.7 ポイント、その他の業種が 1.2 ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 292 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 21.9%（前期 17.2%）、「やや悪い・悪い」が 37.3%（前期 50.5%）となった。D I 値は▲15.4（▲33.3）となり、前期調査時に比べ 17.9 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲26.0（前期▲24.6）・建設業が 5.3（前期▲23.4）・卸売業が▲50.0（前期▲33.3）・小売業が▲52.3（前期▲50.0）・飲食業が▲4.7（前期▲42.8）・サービス業が▲18.9（前期▲40.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して建設業と飲食業とサービス業で改善が見られた。特に飲食業については、マイナス幅の大きな縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業と卸売業と小売業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 15.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.3%、D I 値は▲23.9 となった。

現状の D I 値（▲15.4）と比較すると、8.5 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲40.0・建設業が▲7.3・卸売業が▲25.0・小売業が▲64.3・飲食業が▲4.6・サービス業が▲18.9・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が▲10.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業が 25.0 ポイント改善を見通すほか、飲食業、サービス業が現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が▲14.0 ポイント、建設業が▲12.6 ポイント、小売業が▲12.0 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、38.4%（前期 46.0%）、「原材料高及び不足」が 34.9%（前期 40.3%）、「人手不足」が 24.7%（前期 26.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業では、「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 47 社 16.1%（前期 15.6%）であった。前期と比較して 0.5 ポイント増加した。業種別では、製造業が 16.0%（前期 16.9%）、建設業が 20.8%（前期 16.0%）、卸売業が 12.5%（前期 0.0%）、小売業が 7.1%（前期 6.8%）、飲食業が 14.3%（前期 14.3%）、サービス業が 11.3%（前期 23.1%）、交通運輸業が 50.0%（前期 0.0%）、その他の業種が 25.0%（前期 23.1%）となった。設備投資を実施した業種別では、建設業が 20 社と最も多かった。

亀山商工会議所地区（調査対象 476 事業所 回答状況 133 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.6%（前期 20.6%）、「やや悪い・悪い」が 40.6%（前期 39.0%）となった。D I 値は▲18.0（前期▲18.4）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいする結

果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲62.5（前期▲37.4）・建設業が 8.7（前期▲13.4）・卸売業が▲50.0（前期▲50.0）・小売業が▲30.0（前期▲20.0）・飲食業が 57.1（前期 14.3）・サービス業が▲20.0（前期 4.5）・交通運輸業が 0.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲50.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業、飲食業、その他の業種で改善が見られた。一方で、卸売業については横ばい、製造業、小売業、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 21.8%、「やや悪い・悪い」との回答は 29.4%、D I 値は▲7.6 となった。

現状のD I 値（▲18.0）と比較すると、10.4 ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲37.5・建設業が 4.3・卸売業が▲50.0・小売業が▲20.0・飲食業が 50.0・サービス業が▲3.3・交通運輸業が▲25.0・その他の業種が 25.0 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 25.0 ポイント、小売業が 10.0 ポイント、サービス業が 16.7 ポイント、その他の業種が 75.0 ポイント改善を見通すほか、卸売業が 0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業は 4.4 ポイント、飲食業が 7.1 ポイント、交通運輸業が 25.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、41.4%（前期 40.2%）、「原材料高及び不足」が 39.1%（前期 33.3%）、「人手不足」が 23.3%（前期 29.9%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業で「人出不足」、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。また、サービス業は「売上・受注の停滞減少」「原材料高及び不足」が同率で最も多く、交通運輸業、その他の業種では「人件費以外の経費増加」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 28 社 21.1%（前期 24.1%）であった。前期と比較して 3.0 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 20.8%（前期 20.8%）、建設業が 30.4%（前期 20.0%）、卸売業が 25.0%（前期 25.0%）、小売業が 10.0%（前期 40.0%）、飲食業が 14.3%（前期 42.9%）、サービス業が 23.3%（前期 13.6%）、交通運輸業が 50.0%（前期 66.7%）、その他の業種が 25.0%（前期 0.0%）となった。

前期と比較し、その他の業種が 25.0 ポイントと最も増加幅が大きく、小売業が▲30.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

津商工会議所地区（調査対象 1607 事業所 回答状況 174 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 35.0%（前期 24.0%）、「やや悪い・悪い」が 32.1%

(前期 41.8%) となった。D I 値は 2.9 (前期▲17.8) となり、前期調査時に比べ 20.7 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が 0.0 (前期▲36.0)・建設業が▲6.3 (前期▲15.4)・卸売業が 30.8 (前期▲28.5)・小売業が▲46.2 (前期▲45.5)・飲食業が 43.8 (前期 12.5)、サービス業が 8.3 (前期▲4.0)・その他の業種が 17.6 (前期▲7.7) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業、その他の業種で改善が見られた。一方で、小売業ではほぼ横ばいとなった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 24.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 32.1%、D I 値は▲7.9 となった。

現状の D I 値 (2.9) と比較すると、10.8 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲12.5・建設業が▲22.2・卸売業が▲30.8・小売業が▲53.9・飲食業が 62.6・サービス業が▲4.2・その他の業種が 29.4 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、飲食業、その他の業種で改善する見通しである。一方、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「原材料高及び不足」の 40.2% (前期 36.3%) が最も多く、「売上・受注の停滞減少」が 39.7% (前期 45.9%)、「人手不足」が 29.3% (前期 36.3%) と上位を占めた。「原材料高及び不足」の割合が増加し、前期 1 位の「売上・受注の停滞減少」を上回る変化がみられた。

業種別では、前期に引続き製造業・卸売業・小売業・サービス業が「売上・受注の停滞減少」、飲食業では「原材料高及び不足」・建設業では「原材料高及び不足」と「人手不足」、その他の業種では「人手不足」が最も多くなった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 34 社 19.5% (前期 15.8%) であった。前期と比較して 3.7 ポイント増加した。業種別では、建設業が 13 社 (前期 7 社) と最も多かった。

松阪商工会議所地区 (調査対象 874 事業所 回答状況 308 事業所)

現 状

令和 5 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 16.6% (前期 12.9%)、「やや悪い・悪い」が 44.8% (前期 53.7%) となった。D I 値は▲28.2 (前期▲40.8) となり、前期調査時に比べ 12.6 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲38.0 (前期▲43.0)・建設業が▲16.7 (前期▲32.3)・卸売業が▲44.5 (前期▲66.7)・小売業が▲48.2 (前期▲60.7)・飲食業が▲6.3 (前期▲21.5)・サービス業が▲17.5 (前期▲27.1)・交通運輸業が▲22.3 (前期▲27.8) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、すべての業種で改善。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 10.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.6%、D I 値は▲29.2 となった。

現状の D I 値 (▲28.2) と比較すると、1.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲39.4・建設業が▲18.1・卸売業が▲38.9・小売業が▲48.1・飲食業が▲6.3・サービス業が▲21.1・交通運輸業が▲27.8 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業が 5.6 ポイント改善する見通し。一方で小売業、飲食業がほぼ横ばい、製造業が 1.4 ポイント、建設業が 1.4 ポイント、サービス業が 3.6 ポイント、交通運輸業が 5.5 ポイント悪化する見通し。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 49.0% (前期 50.2%)、「原材料高及び不足」が 37.7% (前期 38.3%)、「人手不足」が 25.3% (前期 28.2%) と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業では「売上・受注の停滞減少」が、建設業、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 35 社 11.4% (前期 11.5%) であった。前期と比較して 0.1 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 15.5% (前期 12.3%)、建設業が 12.5% (前期 16.2%)、卸売業が 11.1% (前期 11.1%)、小売業が 5.6% (前期 8.9%)、飲食業が 6.3% (前期なし)、サービス業が 12.2% (前期 10.4%)、交通運輸業が 11.1% (前期 11.1%) となった。

前期と比較し、飲食業が 6.3 ポイントと最も増加幅が大きく、建設業は 3.7 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区 (調査対象 600 事業所 回答状況 259 事業所)

現 状

令和 5 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 28.2% (前期 19.9%)、「やや悪い・悪い」が 27.8% (前期 46.5%) となった。D I 値は 0.4 (前期▲26.6) となり、前期調査時に比べ 27.0 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が 2.1 (前期 6.2)・建設業が▲25.7 (前期▲33.3)・卸売業が 26.7 (前期▲25.0)・小売業が▲18.2 (前期▲58.5)・飲食業が 33.3 (前期▲14.6)・サービス業が▲12.0 (前期▲25.6)・交通運輸業が 50.0 (前期 0.0)・その他の業種が 20.0 (前期▲50.0) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業を除く全ての業種で改善が見られた。特に卸売業で 51.7 ポイント、小売業で 40.3 ポイント、飲食業で 47.9 ポイントと大きく改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 22.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 25.1%、

D I 値は▲2.4 となった。

現状のD I 値 (0.4) と比較すると、2.8 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が 0.1・建設業が▲17.9・卸売業が▲3.3・小売業が▲18.2・飲食業が 25.6・サービス業が▲8.0・交通運輸業が 0.0・その他の業種が 40.0 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が 7.8 ポイント、サービス業が 4.0 ポイント、その他の業種で 20.0 ポイント改善を見通すほか、小売業が 0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が▲2.2 ポイント、卸売業が▲30.0 ポイント、飲食業が▲7.7 ポイント、交通運輸業が▲50.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「原材料高及び不足」が最も多く、43.6% (前期 37.7%)、「売上・受注の停滞減少」が 37.8% (前期 48.2%)、「人手不足」が 22.8% (前期 29.8%) と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、卸売業、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多く、小売業、サービス業、交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 33 社 12.7% (前期 18.8%) であった。前期と比較して 6.1 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 11.1% (前期 9.4%)・建設業が 10.3% (前期 18.5%)・卸売業が 10.0% (前期 0.0%)・小売業が 9.1% (前期 14.6%)・飲食業が 17.9% (前期 26.5%)・サービス業が 14.0% (前期 33.3%)・交通運輸業が 0.0% (前期 0.0%)・その他の業種が 30.0% (前期 0.0%) となり、飲食業が 7 社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地区 (調査対象 250 事業所 回答状況 80 事業所)

現 状

令和 5 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 27.5% (前期 25.3%)、「やや悪い・悪い」が 48.8% (前期 44.0%) となった。D I 値は▲21.3 (前期▲18.7) となり前期調査時に比べ、2.6 ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲5.9 (前期▲39.2)・建設業が▲43.8 (前期▲20.0)・卸売業が 16.6 (前期▲40.0)・小売業が▲6.6 (前期▲21.0)・飲食業が▲55.5 (前期▲10.0)・サービス業が▲54.6 (前期 25.0)・交通運輸業が 0.0 (前期 0.0)・その他の業種が 40.0 (前期▲71.4) となっている。

業種別では前期D I 値と比較して製造業、卸売業、小売業、その他の業種で改善が見られたが、建設業、飲食業、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 16.3%、「やや悪い・悪い」との回答は 43.8%、D I 値は▲27.5 となった。

現状のD I 値 (▲21.3) と比較すると、6.2 ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲5.9・建設業が▲37.5・卸売業が 0.0・小売業が▲13.3・飲食業が

▲44.4・サービス業が▲72.8・交通運輸業が100.0・その他の業種が▲40.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が6.3ポイント、飲食業が11.1ポイント改善の見通しであるが、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」(前期34.1%)が最も多く42.5%を占めた。次いで「原材料高及び不足」が37.5%(前期50%)、「人手不足」が30.0%(前期29.7%)と上位を占めた。業種別では製造業、建設業、小売業、サービス業は「原材料高及び不足」が最も多い結果となったが、卸売業、飲食業は「原材料高及び不足」が、その他の業種は「人手不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は16社20.0%(前期23.1%)であった。前期と比較して3.1ポイント減少した。

業種別では、製造業が17.6%(前期26.1%)、建設業が25.0%(前期33.3%)、卸売業が16.7%(前期0.0%)、小売業が6.7%(前期15.8%)、飲食業が33.3%(前期10.0%)、サービス業が27.3%(前期41.7%)、交通運輸業が0.0%(前期0.0%)、その他業種が20.0%(前期14.3%)となった。

上野商工会議所地区（調査対象280事業所 回答状況83事業所）

現 状

令和5年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が28.9%(前期19.7%)、「やや悪い・悪い」が36.2%(前期52.1%)となった。D I 値は▲7.3(前期▲32.4)となり、前期調査時に比べ25.1ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が0.0(前期▲18.8)・建設業が▲41.1(前期▲20.0)・小売業が▲30.0(前期▲43.7)・飲食業が83.3(前期▲16.7)・サービス業が15.0(前期▲53.9)となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業・小売業・飲食業・サービス業でマイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、建設業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が20.5%、「やや悪い・悪い」との回答は37.3%、D I 値は▲16.8となった。

現状のD I 値(▲7.3)と比較すると、9.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲5.9・建設業が▲47.0・小売業が▲25.0・飲食業が83.3・サービス業が▲15.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が5.0ポイント、飲食業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業は5.9ポイント、建設業は5.9ポイント、サービス業は30.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 44.6%（前期 46.5%）、「原材料高及び不足」が 39.8%（前期 35.2%）、「人件費以外の経費増加」が 25.3%（前期 36.6%）と上位を占めた。また、業種別では、建設業・小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業では「原材料高及び不足」が最も多く、飲食業では「人件費以外の経費増加」が最も多く、サービス業では「設備店舗の狭小老朽化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 10 社 12.0%（前期 14.1%）であった。前期と比較して 2.1 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 5.9%（前期 12.5%）、建設業が 11.8%（前期 13.3%）、小売業が 5.0%（前期 0.0%）、飲食業が 33.3%（前期 16.7%）、サービス業が 20.0%（前期 30.8%）、となった。業種別では、サービス業が 4 社と最も多かった。

名張商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 87 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 17.2%（前期 16.8%）、「やや悪い・悪い」が 42.5%（前期 38.6%）となった。D I 値は▲25.3（前期▲21.8）となり、前期調査時に比べ 3.5 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲50.0（前期 0.1）・建設業が▲41.6（前期▲18.2）・卸売業が 0.0（前期 0.0）・小売業が▲23.5（前期▲69.2）・飲食業が▲28.6（前期▲50.0）・サービス業が▲14.3（前期▲5.0）・その他の業種が 66.7 となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業、飲食業で改善が見られた。一方で、卸売業については横ばい、製造業、建設業、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 47.1%、D I 値は▲32.2 となった。

現状の D I 値（▲25.3）と比較すると、6.9 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲50.0・建設業が▲41.6・卸売業が▲20.0・小売業が▲41.2・飲食業が▲28.6・サービス業が▲14.2・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業、建設業、飲食業、サービス業がほぼ横ばいの見通しである。一方で卸売業が 20.0 ポイント、小売業が 17.7 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 40.2%（前期 39.8%）、「原材料高及び不足」が 26.4%（前期 31.3%）、「人件費以外の経費増加」が 23.0%（前期 18.1%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業・小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業・飲食業で「原

材料高及び不足」、サービス業が「人件費以外の経費増加」、その他業種で人手不足が最も多かった。また、製造業は「売上・受注の停滞減少」「原材料高及び不足」、卸売業は「売上・受注の停滞減少」「売上・受注の停滞減少」が同率で最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資を実施した企業は16社18.4%（前期14.5%）であった。前期と比較して3.9ポイント増加した。

業種別では、製造業が20.0%（前期21.4%）、建設業が16.7%（前期4.5%）、卸売業20.0%（前期14.3%）、小売業が11.8%（前期15.4%）、飲食業が14.3%（前期66.7%）、サービス業が28.6%（前期5.0%）、となり、サービス業が6社と最も多かった。

尾鷲商工会議所地区（調査対象127事業所 回答状況122事業所）

現 状

令和5年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が13.1%（前期11.5%）、「やや悪い・悪い」が41.8%（前期46.7%）となった。DI値は▲28.7（前期▲35.2）となり、前期調査時に比べ6.5ポイント改善する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲33.2（前期▲18.8）・建設業が▲28.6（前期▲42.8）・卸売業が▲14.3（前期▲62.5）・小売業が▲52.6（前期▲52.4）・飲食業が▲18.2（前期▲16.7）・サービス業が▲11.1（前期▲47.0）・交通運輸業が▲25.0（前期▲33.3）・その他の業種が0.0（前期▲16.7）となった。

種別では前期DI値と比較して卸売業では48.2ポイントと大きく改善が見られた他、建設業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られ、小売業ではほぼ横ばいの結果となった。一方で、製造業、飲食業では悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.8%、「やや悪い・悪い」との回答は38.5%、DI値は▲28.7となった。

現状のDI値（▲28.7）と比較すると、ほぼ横ばいする結果となった。

業種別のDI値を見ると製造業が▲27.8・建設業が▲52.3・卸売業が0.0・小売業が▲36.8・飲食業が▲9.1・サービス業が▲16.7・交通運輸業が▲25.0・その他の業種が▲20.0となった。

業種別に現状のDI値を比較すると、製造業が5.4ポイント、卸売業が14.3ポイント、小売業が15.8ポイント、飲食業が9.1ポイントの改善を見通すほか、交通運輸業がほぼ横ばいの結果となった。

一方、建設業で▲23.7ポイント、サービス業で▲5.6ポイント、その他の業種で▲20.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く47.5%（前期49.2%）、「原材料高及び不足」が45.1%（前期48.4%）、「人件費以外の経費増加」が23.0%（前期24.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が22.1%（前期23.8%）、「人手不足」が18.0%（前期12.3%）と上位を占めた。

業種別では、原材料高及び不足について、サービス業では前期 3 位の 23.5%から今期 1 位の 50.0%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について、実施した企業は 21 社 17.2%（前期 18 社 14.8%）であった。前期と比較して 2.4 ポイント増加した。

業種別では、製造業 30.6%（前期 25.0%）、建設業 9.5%（前期 14.3%）、卸売業 28.6%（前期 12.5%）、小売業 5.3%（前期 4.8%）、飲食業 9.1%（前期 0.0%）、サービス業 11.1%（前期 23.5%）、交通運輸業 0.0%（前期 0.0%）、その他の業種 40.0%（前期 0.0%）となり、前期と比較し、その他の業種が 40.0 ポイントと最も増加幅が大きく、サービス業が▲12.4 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が 11 社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 58 事業所）

現 状

令和 5 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.8%（前期 14.7%）、「やや悪い・悪い」が 58.6%（前期 54.5%）となった。D I 値は▲44.8（前期▲39.8）となり、前期調査時に比べ 5.0 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲80.0（前期▲18.2）・建設業が▲14.3（前期▲54.6）・卸売業が 0.0（前期 0.0）・小売業が▲65.2（前期▲72.2）・飲食業が▲20.0（前期▲16.7）・サービス業が 0.0（前期▲6.6）・その他の業種が▲33.3（前期▲100.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して建設業・小売業・サービス業とその他の業種で改善が見られた。特に建設業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業・飲食業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.8%、「やや悪い・悪い」との回答は 56.9%、D I 値は▲43.1 となった。

現状の D I 値（▲44.8）と比較すると、1.7 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲80.0・建設業が 0.0・卸売業が 0.0・小売業が▲56.5・飲食業が▲40.0・サービス業が 0.0・その他の業種が▲66.6 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 14.3 ポイント改善を見通すほか、製造業・サービス業が 0.0 と現在の水準で推移する見通しである。一方で飲食業は、20.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、53.4%（前期 45.6%）、「原材料高及び不足」が 43.1%（前期 33.8%）、「人件費以外の経費増加」が 19.0%（前期 11.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、飲食業が、前期 2 位「売り上げ受注の減少」50.0%から前期 1 位・今期 1 位「原材料高及び不足」と並び 80.0%に変動した。

「原材料高及び不足」・「売上・受注の停滞減少」の課題がさらに上昇している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は6社10.3%（前期8.8%）であった。前期と比較して1.5ポイント増加した。業種別では、業種別では建設業が3社と最も多かった。

景況調査票

令和5年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
〈建設業〉	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈卸売業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈小売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈飲食業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈サービス業〉	21.飲食店				
〈交通運輸業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		


2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について


3 現状について…令和5年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

理由: 

4 今後の見通しについて…令和5年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

理由: 

5 売上状況について…令和5年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6 売上の見通しについて…令和5年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

7 利益状況について…令和5年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和5年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和5年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入	なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	-------	----

10 設備投資について

令和5年1～6月の実績		令和5年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし



11 資金繰りの現状について…令和5年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…令和5年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。


1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

13 借入の現状について…令和5年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---


14 借入予定はどうか…(令和5年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------



14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------



14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------



15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にエネルギー価格、物価の高騰などによる影響、新型コロナウイルスの影響、国・県などの支援策の活用状況や、今後行政へ希望する経済対策などがあれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。